

中・県西地域
普通科・専門学科併置校
(小田原城北工業高校・大井高校)
設置計画

令和7年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 小田原城北工業高等学校 大井高等学校
- (2) 位置 小田原城北工業高等学校敷地（小田原市栢山200）
- (3) 実施年度 令和8年度

2 設置の目的

- これまで両校が取り組んできた教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、幅広い地域資源を活用した様々な連携事業を実施し、これまで以上に密接な地域連携活動を展開する。
- 普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）を併置することによって多様な科目の配置が可能となり、進学や就職に向けた学力の向上、技能を身に付けることや資格取得をめざすこと等、幅広い学びの実現を図る。
- 小田原城北工業高校における地域企業や自治会との連携を通して地域産業を担う人材を育成する取組みと、大井高校における福祉教育やクリエイティブスクールとしてのきめ細かな学習指導による確かな学力の定着をめざす取組みを共有し、生徒一人ひとりが目的意識を持てる進路選択の実現を図る。

3 基本的コンセプト

- 学年制による普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）を併置する県立高校としての教育の展開
- 創造力と実践力により地域の発展等に主体的にかかわることができる人材の育成をめざす。
- 各学科における教育の推進
 - ア 普通科（クリエイティブスクール）

普通科（クリエイティブスクール）として、学び直しから基礎学力（確かな学力）の定着に取り組み、教育活動全体を通して重点的にコミュニケーション能力の育成を図るとともに、正しい生活習慣やモラル、マナーを身に付けることで、地域社会を担う自立した社会人を育成する。

イ 専門学科（工業）

専門学科（工業）として、実践的・体験的な学習活動を充実させ、自ら課題を発見し、他者と協働しながら課題を解決する力を育むとともに、企業や大学、専門学校や地域社会と連携した教育を展開することで、地域産業を担う将来のテクノロジストを育成する。

○ 学科併置をいかした幅広い教育活動の展開

普通科（クリエイティブスクール）で実践してきた、わかることが実感できるきめ細かな学習指導を専門学科（工業）でも共有し、確実な学力を育成する。

専門学科（工業）で実践してきた資格取得等を普通科（クリエイティブスクール）でも共有し、確かな知識や技能を身に付ける。

学科併置の強みをいかした教育課程を編成し、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い教育活動を展開する。

○ 地域とともに歩む学校づくりの推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会・地域産業への参画意識を高めることで、学校を支える基盤である地域社会・地域産業と、そこで学んだ人材が将来にわたって循環し地域とともに歩めるように、学校づくりを推進する。

4 設置形態

- | | |
|---------|---|
| （１）課 程 | 全日制の課程 |
| （２）学 科 | 普通科（クリエイティブスクール）
機械科（工業に関する学科）
電気科（工業に関する学科）
建設科（工業に関する学科）
デザイン科（工業に関する学科） |
| （３）学校規模 | 全日制の課程 720名程度
普通科 240名程度
(各学年80名程度 2学級規模を3学級展開)
機械科 120名程度(各学年40名程度 1学級規模程度)
電気科 120名程度(各学年40名程度 1学級規模程度)
建設科 120名程度(各学年40名程度 1学級規模程度)
デザイン科 120名程度(各学年40名程度 1学級規模程度)
※ 学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定 |
| （４）修業年限 | 3年 在学年限は原則として6年 |

- (5) 学 期 3 学期制
 (6) 履修形態 学科ごとの科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
 (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉(予定)

	6 校時時程 (週 5 日)
ショートホームルーム	8 : 45～8 : 50
1 校 時	8 : 55～9 : 45
2 校 時	9 : 55～10 : 45
3 校 時	10 : 55～11 : 45
昼 休 み	11 : 45～12 : 30
4 校 時	12 : 30～13 : 20
5 校 時	13 : 30～14 : 20
6 校 時	14 : 30～15 : 20
ショートホームルーム	15 : 25～15 : 30
清掃	15 : 30～15 : 40

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集 (中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法

〈普通科 (クリエイティブスクール)〉

事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。
 学力検査を課さず、「特色検査 (面接及び自己表現検査)」を実施する。

〈専門学科 (工業)〉

事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針

- 在籍 3 年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 普通科 (クリエイティブスクール) においては、わかることが実感できる学びを重視した教育を提供するため、すべての学習活動で 1 クラスの人数を 30 人程度で構成し、少人数指導等の工夫をした授業展開を行う。

- 専門学科（工業）においては、専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

（2）教育展開の方針

- すべての教科・科目を通して「創造力」及び「実践力」の育成を図るため、各学科において基礎的な科目から応用・発展的な科目までを設置するとともに、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮し、教科等横断的な視点で系統的な教育の展開を図る。
- 普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）の併置の特色をいかした学びの充実及び、いずれの学科の科目も履修できる教育を展開するとともに、幅広い地域資源を活用した教育を展開する。
- 普通科（クリエイティブスクール）においては、共通教科・科目を中心に設置し、確かな学力の定着に取り組み、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るとともに、教養を身に付けた自立した社会人を育成する。
- 専門学科（工業）においては、共通教科・科目及び専門教科・科目をバランスよく設置するとともに、教科等横断的な視点で展開し、確かな知識や技能・技術及び発展的な応用力の定着に取り組み、幅広い教養を身に付け自立した社会人を育成する。

（3）編成の方針

- 共通履修科目及び工業に関する学科の専門科目、必修選択科目、自由選択科目で構成する。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じて設定した課題について、普通科（クリエイティブスクール）においては総合的な探究の時間で、専門学科（工業）においては課題研究等での発表・討論等を通して知識及び技能の深化・統合化を図る。
- 地域の教育力や県立高校生学習活動コンソーシアム等を活用し、学校外での学修成果による単位認定を行う。
- 集中講座や学習内容の習熟の程度に応じた学習等、柔軟な履修形態による学習活動を展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科 (クリエイティブスクール)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 学年		現代の国語②		言語文化②		地理総合②		公共②		数学Ⅰ④			科学と人間生活②		体育③			保健①		音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③		情報Ⅰ②		社会福祉基礎②		総合的な探究の時間①		LHR①
2 学年		文系		論理国語③		文学国語④		歴史総合②		数学Ⅰ②		生物基礎②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅡ④		家庭総合②		必修選択α②		必修選択β②		総合的な探究の時間②		LHR①		
				論理国語③						歴史総合②		数学Ⅱ④		数学Ⅰ②		物理基礎②／		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅡ④		家庭総合②		必修選択α②		必修選択β②		総合的な探究の時間②
3 学年		文系		論理国語②		国語表現②		地理探究／日本史探究／世界史探究④		政治・経済②		数学Ⅰ②		体育②		家庭総合②		英語コミュニケーションⅢⅡ④／		自由選択α		自由選択β		自由選択γ		総合的な探究の時間②		LHR①		
				国語表現②		政治・経済②		数学Ⅱ／数学Ⅲ④		物理／化学／生物④		体育②		家庭総合②		英語コミュニケーションⅢⅡ④／		自由選択α		自由選択β		自由選択γ		総合的な探究の時間②		LHR①				

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 2 学年必修選択 α (2 単位)

音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、[工] 工業技術基礎②

◇ 2 学年必修選択 β (2 単位)

論理・表現Ⅰ②、[家] 保育基礎②、[福] 介護福祉基礎②、[体] スポーツⅡ②

◇3 学年自由選択 α (0～2 単位)

音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、論理・表現Ⅰ②※₁、情報Ⅱ②、[工] 製図(建設)②、
[家] 保育基礎②※₁

◇3 学年自由選択 β (0～2 単位)

古典探究②、数学B②※₂、物理④※₂、※₃、論理・表現Ⅰ②※₁、情報Ⅰ②、
[工] 実習(機械)②、[工] デザイン実践②、[家] フードデザイン②

◇3 学年自由選択 γ (0～2 単位)

数学C②※₂、物理④※₂、※₃、論理・表現Ⅱ②、[工] 実習(電気)②、
[家] ファッション造形基礎②、[福] 介護実習②、[体] スポーツⅡ②※₁、
[音] 演奏研究②、[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道(芸)②**

※1 2 学年必修選択で履修した科目は、3 学年自由選択で選択できない。

※2 理系のみが選択可能。

※3 物理④を選択する場合は、3 学年自由選択 β 及び自由選択 γ で選択する。
(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

<主な科目>

普通科と工業科の併置の特色をいかした科目について

普通科と工業科の併置の特色をいかし、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い教育活動を展開する。普通科における工業の教科・科目の選択を可能とする教育課程を編成するため、工業技術基礎のような工業に関する科目を設置し、機械、電気、建設、デザインに関する基礎的・基本的な内容を学ぶ。

工業技術基礎 (2 単位)

機械、電気、建設、デザインに関する基礎的・基本的な内容を学び、実習等の実践的・体験的な学習活動をとおして、知識・技術を身に付けるとともに他者と協働しながら課題を解決する力を育成する。

実習(機械) (2 単位)

機械加工の実習をとおして、工学的な見地から製図や金属材料について学び、「ものづくり」の基本的な知識・技術を身に付ける。

実習(電気) (2 単位)

電気の実習をとおして、身近な電気について学び、電気に関する基本的な知識・技術を身に付ける。

製図（建設）（2単位）

建設分野に関する製図について学び、CAD ソフトを利用して簡単な建築図面を作図し、構造や部材、建築図面の読み方等、住宅建築に関する基礎的な知識・技術を身に付ける。

デザイン実践（2単位）

工業におけるデザインについて学び、マーケティング、造形原理、視覚伝達デザイン、製品デザイン、環境デザインに必要な資質・能力を育成する。

「学び直し」による基礎学力の定着について

高等学校の学習内容の定着を図るため、必要に応じて各教科において義務教育段階での学習の確実な定着をめざし、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開する。生徒がわかることを実感し、主体的・協働的に学習に取り組む態度を育成する。

数学Ⅰ（4単位）

数と式、図形と計量等についての基本的な概念や原理・法則の知識の定着を図り、生徒がわかることを実感するとともに、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する。

英語コミュニケーションⅠ（3単位）

聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くこと等についての基本的な知識や技能の定着を図り、生徒がわかることを実感するとともに、適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

福祉に関する科目について

社会福祉基礎（2単位）

手話や車いす、ベッドメイキング等の実践的・体験的な学習活動を通して、福祉に関する知識と技術を身に付けるとともに、人権尊重や福祉の理念を学ぶことで倫理観や他者を思いやる心を育成する。

○ 工業科（機械科）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
1 学年	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③			科学と人間生活②			体育③		保健①	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②			英語コミュニケーションⅠ③			工業技術基礎③			製図②		工業情報数理②			機械設計②		総合的な探究の時間①	LHR①
2 学年	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④			物理基礎②			体育②		保健①	英語コミュニケーションⅡ②		家庭基礎②		実習⑥						製図②		機械設計②			総合的な探究の時間①		LHR①
3 学年	国語表現②		地理総合②		数学A②		体育②	英語コミュニケーションⅡ②			課題研究③			実習③		製図②		機械設計②		必修選択α④			必修選択β②			必修選択γ②			LHR①		

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択 α（4 単位）※₄

数学Ⅲ④、[工] 原動機②、[工] 機械工作②

◇ 3 学年必修選択 β（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学B②、物理④※₅、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] 自動車工学②

◇ 3 学年必修選択 γ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学C②、物理④※₅、[工] 実習（機械）②、
[家] ファッション造形基礎②、[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、
[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道②（芸）**

※₄ 必修選択 α は、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※₅ 3 学年必修選択で物理を履修する場合は、必修選択 β と必修選択 γ で物理を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

○ 工業科（電気科）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 学年	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③			科学と人間生活②		体育③			保健①	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③			工業技術基礎③		工業情報数理②			電気回路④			総合的な探究の時間①		LHR①
2 学年	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④			物理基礎②		体育②			保健①	英語コミュニケーションⅡ②		家庭基礎②		実習③		電気回路②		電力技術③			電子技術②		総合的な探究の時間①		LHR①
3 学年	国語表現②		地理総合②		数学A②		体育②	英語コミュニケーションⅡ②		課題研究③			実習③		製図②		電力技術②		必修選択α④		必修選択β②		必修選択γ②						LHR①

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択 α（4 単位）※₄

数学Ⅲ④、[工] 通信技術②、[工] 電気機器②

◇ 3 学年必修選択 β（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学B②、物理④※₅、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] ハードウェア技術②

◇ 3 学年必修選択 γ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学C②、物理④※₅、
[工] プログラミング技術②、[家] ファッション造形基礎②、
[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、[美] ビジュアルデザイン②、
実用書道②（芸）

※₄ 必修選択 α は、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※₅ 3 学年必修選択で物理を履修する場合は、必修選択 β と必修選択 γ で物理を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

○ 工業科（建設科）

1 学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③			科学と人間生活②		体育③			保健①		音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③		工業技術基礎③			製図②		工業情報数理②		建築構造		総合的な探究の時間①	
2 学年																													
	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④			物理基礎②		体育②			保健①		英語コミュニケーションⅡ②		家庭基礎②		実習③			製図③		建築構造②		建築計画②		総合的な探究の時間①	
3 学年																													
	国語表現②		地理総合②		数学A②		体育②		英語コミュニケーションⅡ②			課題研究③			実習③		製図②		建築施工②			必修選択α④		必修選択β②		必修選択γ②		LHR①	

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択 α（4 単位）※₄

数学Ⅲ④、[工] 建築計画②、[工] 建築法規②

◇ 3 学年必修選択 β（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学B②、物理④※₅、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] 建築構造設計④※₅、

◇ 3 学年必修選択 γ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学C②、物理④※₅、[工] 建築構造設計④※₅、
[家] ファッション造形基礎②、[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、
[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道②（芸）**

※₄ 必修選択 α は、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※₅ 3 学年必修選択で物理、建築構造設計を履修する場合は、必修選択 β と必修選択 γ で物理、建築構造設計を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

○ 工業科（デザイン科）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 学年	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③		科学と人間生活②		体育③		保健①		音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③		工業技術基礎②		実習②		製図②		工業情報数理②		デザイン実践①		総合的な探究の時間①		LHR①
2 学年	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④		生物基礎②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅡ②		家庭基礎②		課題研究②		実習⑥		製図②		総合的な探究の時間①		LHR①				
3 学年	国語表現②		地理総合②		数学Ⅲ④		体育②		英語コミュニケーションⅡ②		課題研究④		実習④		デザイン実践②		必修選択Ⅰ④		必修選択Ⅱ②		必修選択Ⅲ②		必修選択Ⅳ②		LHR①				

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択Ⅰ（4 単位）※4

数学Ⅲ④、[工] 実習（デザイン）②、[工] デザイン史②

◇ 3 学年必修選択Ⅱ（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学Ⅲ④※5、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] デザイン材料②

◇ 3 学年必修選択Ⅲ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学Ⅲ④※5、[工] デザイン実践②、
[家] ファッション造形基礎②、[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、
[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道②（芸）**

※4 必修選択Ⅰは、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※5 3 学年必修選択で物理を履修する場合は、必修選択Ⅱと必修選択Ⅲで物理を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

<主な科目>

普通科と工業科の併置の特色をいかした科目について

普通科と工業科の併置の特色をいかし、高等学校の学習内容の定着を図るため、必要に応じて義務教育段階での学習の確実な定着をめざし、学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開するとともに、生徒一人ひとりの進路希望に対応できるよう、発展的な内容を学習する。また、総合的な探究の時間や課題研究等において、普通科で実施している「福祉」の視点も取り入れる等、他者と協働しながら課題を解決する力を育む。

国語表現（2単位）

生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、表現力の基盤となる論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるような資質・能力を育成する。

数学Ⅰ（3単位）

生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、数と式、図形と計量等についての基本的な概念や原理・法則の知識の定着を図り、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する。

総合的な探究の時間（2単位）

探究の見方・考え方を働かせ、自己の進路に関する課題や教科横断的な学習等として、自己の在り方生き方を考えながら課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。また、探究活動で学んだ情報を集め、整理・分析する資質・能力を課題研究で活用し、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

（5）学習指導の工夫

- 自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的・協働的に学習に取り組むことをめざし、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開することで、わかることが実感できる、きめ細かな指導方法の充実を図る。
- 社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域連携活動を展開する等、地域の教育力を活用することで、地域社会・地域産業への参画意識の育成を図る。
- 実験・実習等の実践的・体験的な学習活動を充実させるとともに、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、個別最適な学びや協働的な学びを充実させる。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、生徒の主体性や達成感、責任感を涵養するとともに、様々な個性を相互に尊重し、コミュニケーションを大切にしたりより良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。
- 家庭との綿密な連携を図り、生徒が安定した学校生活を送るために、規則正しい生活習慣を形成できるよう指導・支援を行う。
- 心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣を形成することができるよう、生徒と教職員との信頼関係を育むとともに、外部機関との連携を通して、規範意識や社会性の育成を図る。
- スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）による相談・支援を行うとともに、特別支援学校や医療・福祉関係機関との連携を図る。
- 生徒の状況を的確に把握し、様々な困難を抱える生徒に対して情報共有を行いながら、一人ひとりに応じたきめ細かで適切な配慮や支援・相談体制の充実を図る。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、社会とのかかわりの中で豊かな経験を積み、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育成するため、教育活動全体を通してキャリア教育実践プログラムに取り組むとともに、組織的かつ計画的な進路指導を行う。
- 生徒一人ひとりの状況に応じて、外部機関と連携し専門的な相談・支援を行うことで、目的意識を持ち、将来のキャリアを見据えた進路目標を実現できるよう指導する。
- スクールキャリアカウンセラー（SCC）等による専門的な相談・支援を行う。

(8) 学校経営

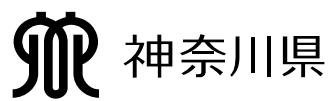
- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- 両校がこれまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における学年制普通科（クリエイティブスクール）及び専門学科（工業）の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における学年制普通科（クリエイティブスクール）及び専門学科（工業）の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256